

GEMAP 地域医療連携運営 WG 第 4 回会議 議事録

1. 日時：2012 年 2 月 20 日(月) 13:30～15:00
2. 場所：株式会社トーカイ 本社ビル 14 階 会議室
3. 出席者： 正副委員長を含め8名の委員、及び GEMAP より丸山事務局長と西尾さん、そして資料説明のため、(株)トーカイの伊藤さんが出席した。

役職	氏名	出欠
委員長	三田村 一治	出席
副委員長	小川 和大	出席
委員	北原 祐二	出席
委員	黒澤 成行	出席
委員	上甲 桂子	出席
委員	白木 元朗	出席
委員	田中 淳一	欠席
委員	谷口 博	出席
委員	百名 朝寛	出席

4. 資料

- 資料1 課題整理(NTT データ)
- 資料2 福祉用具サービス計画(トーカイ)
- 資料2付 「福祉用具サービス計画」様式(トーカイ)

5. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回会議の議事録の確認を行った。

(2) 救急医療の課題の整理

三田村委員長が、前回会議に続いて、各社があげた救急医療の課題を整理した資料1について説明した。前回会議で、(a) 運用面での課題と、(b) IT 導入に当たった課題との2つに分けたが、(b)に属する全14項目と、(a)の中の5項目とを選択し、それらの各項目について、解決する方向性とシステム解決案について説明した。これらについて、他の解決案があるのではないか等、次回までに各委員の意見を伺うこととした。そして、GEMITS ではどのような対策がとれるのかについて、関係者間で議論することとなった。また、前回紹介した総務省案件でこれらの解決案のいくつかを取り入れていくことを検討しているとの報告があった。

なお、救急隊側からの要望として、現場での応急処置や病院選定と、それらの処置後に行う活動の記録という作業が統一されたシステムとなっていることが望ましいとの意見が出た。

(3) 総務省に提案する実証実験案件

小川副委員長が前回に引続いて総務省に提案を検討している実証実験案について説明した後、各委員からその所属企業として提案できそうなものを報告した。

まず、日本光電工業の黒澤委員からは、医療機器メーカーとして、救急車内の生体情報モニタから3G回線を通じて病院に生体情報を伝送することができる、また、病院内のネットワークが同社製であればそこから色々な情報を取出して処理できる、との説明があった。

次に、三田村委員長が、欠席の田中委員から先日聞いた話として、住友スリーエムとしては、電子聴診器を使用して心音を電子的に伝送する仕組みを検討しているとの報告があった。

トーカイ シルバー事業本部の伊藤さんが、資料2を利用して、介護保険制度に関して、福祉用具の「貸しっぱなし」事業者を排除してレンタルの質を担保する目的から今年4月より導入される「福祉用具サービス計画」の作成を支援するシステムの説明を行った。なお、同社では2年前から同様の帳票を作成しており、今年10月からはiPadを用いて出先で入力・印刷することを予定している。

三田村委員長より、総務省の実証実験案についてもう少し詳細な説明があった。それによると、実証実験の対象地域は宮城県内の2自治体であり、各自治体から1病院、つまり2病院を中核病院として考えている。

北原委員が、GEMITS の中で救急搬送に関する部分を紹介するビデオを見せた。

(4)その他

3月11日(日)に開催される GEMAP の第4回理事会において、本 WG の活動状況について中間報告を行う。

6. 次回会議開催

次回会議は以下の要領で開催する。

日時：2012年3月27日(火) 15:00～

場所：OKI ビジネスセンター 5号館 1階 5106 会議室

以上を以てすべての議案の審議が終了し、閉会した。

2012年2月20日